

第48回日本赤十字社医学総会報告

第48回日本赤十字社医学総会が10月18・19に高松で開催されました。
参加された会員の声をお届けします。



第 48 回日本赤十字社医学会総会に参加して

高松赤十字病院 放射線科部
山花 大典

平成 24 年 10 月 18 日と 19 日に、高松で行われた第 48 回日本赤十字社医学会総会に、大会スタッフとして、またポスター発表の座長として参加しました。今回は 1617 名もの参加があり、演題数も過去最多となりました。台風の影響で前日まで大雨が降っており、交通への影響が心配されたのですが、学会当日は台風一過で快晴となり、無事に開幕を迎えることができました。学会会場では、東日本大震災で使用された dERU(仮設診療所)が組み上げられ、学会参加者のみならず、一般の方々も熱心にスタッフの説明に聞き入っておられ、日赤の活動に対する関心の高さを垣間見ることができました。また、香川(讃岐)と言えこれ！ということで、讃岐うどんのお土産物屋には長蛇の列が出来ており、地元民として大変誇らしく思いました。私は 2 日目の放射線技術部門 3 のセッションの座長を担当したのですが、非常に活発な議論がされつつも予定時間をオーバーすることなく終えることができ、座長としての役割を無事果たせてほっとしております。さらに優秀演題として、1 演題推薦させて頂きました。推薦された演者の方には、日赤事務局よりご連絡があるかもしれませんのでどうかお楽しみに☆

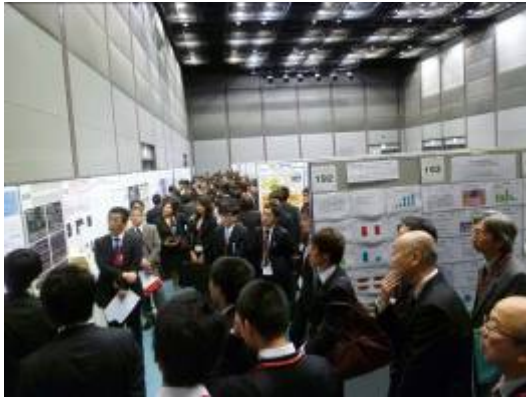
最後になりますが、本学会の成功に尽力して下さった総務課の皆様や、裏方として会場の運営にご協力頂いた株式会社コングレの方々に感謝しつつ、次回の会場の和歌山県にバトンを渡したいと思います。皆様、本当にお疲れ様でした！



① 会場の様子



② 組み上げられた dERU



③ ポスター会場。どのセッションも大盛況で、活発な議論がされていました！

医学会総会の感想

石巻赤十字病院
放射線技術課 大久保 匠

私は第48回日本赤十字医学会総会において、「当院CT室における後発品非イオン性ヨード造影剤による副作用の実態調査」の演題でポスター発表させていただきました。調査するに当たり、造影剤について基礎知識を再学習できたことや、新たに今後研究や調査で役立つであろう統計を勉強できたことは、私自身のスキルアップに繋がったと思います。また、調査段階における課題や業務上での改善点なども考える良い機会となりました。発表会場では、多施設の方々の発表を聞くことができました。私は技師歴3年目であり、今働いている病院の情報しか知りません。そんな私にとって、他施設における検査の運用状況や取り組み・最新機器の情報などはとても興味深く新鮮な印象を受けました。特に、心臓解析や3D画像の応用など、私自身が携わる分野は印象に残っています。医療人の集いにおいては、神戸赤十字病院の放射線部の方々とお酒を飲みながらお話しする機会がありました。お互いの放射線部の運用・課題・展望などを語り合う時間は、私にとってとても有意義な時間となりました。知識を広げるだけでなく、多くの人々と交流を持つことができた医学会総会に参加できた事は良い経験となりました。

